

編集後記：7月に入り、「梅雨明け」まであと少しと言ったところだが、庭の片隅にひっそりと咲く“くちなしの花”の香りが心地よく感じられる今日この頃である。季節の進みは、人間界の「右往左往」とは関係なく、順調に進んでいるようである。

ところで、気象現象の解析・調査には、いろいろな方面からのアプローチがある。気象衛星の観測画像を利用したアプローチは、視覚的にわかり易い一面がある一方、定量的な取り扱いには難しい面もある。日々の衛星画像を見ていて、「おもしろい」と思う現象が見つかったら、その時のあらゆる観測データを収集す

る。そうして、衛星画像一枚一枚について、集めたデータを整理し、詳細につき合わせていろいろと総合的に検討する。すると今まで、雲で可視化された一面しか見えていなかった大気構造の本質が見えてくることがある。こういったアプローチの方法もおもしろいと思う。

もうすぐ夏季休暇のシーズンが来る。まとまった時間が取れるため、普段ではなかなかできない時間をかけた丁寧な解析・調査をするには良い機会だと思う。

(寺坂義幸)